

旅行消費の増加及び休暇分散に向けた取組について

観光庁

旅行消費の増加に向けた取り組み

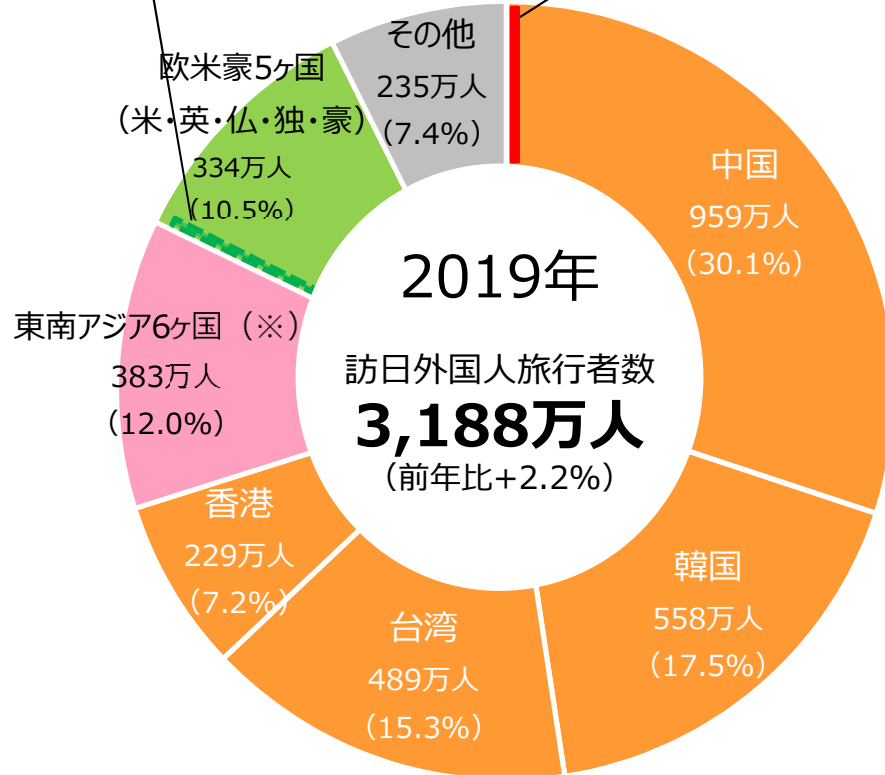
富裕旅行者の人数と消費額の割合

富裕旅行者は、欧米豪5ヶ国と中国だけでも、全体の1.0%の旅行者で消費額全体の11.5%を占める。

訪日した富裕旅行者数

欧米豪5ヶ国から**8.0万人**
5ヶ国全体の**2.4%**
訪日客全体の**0.3%**

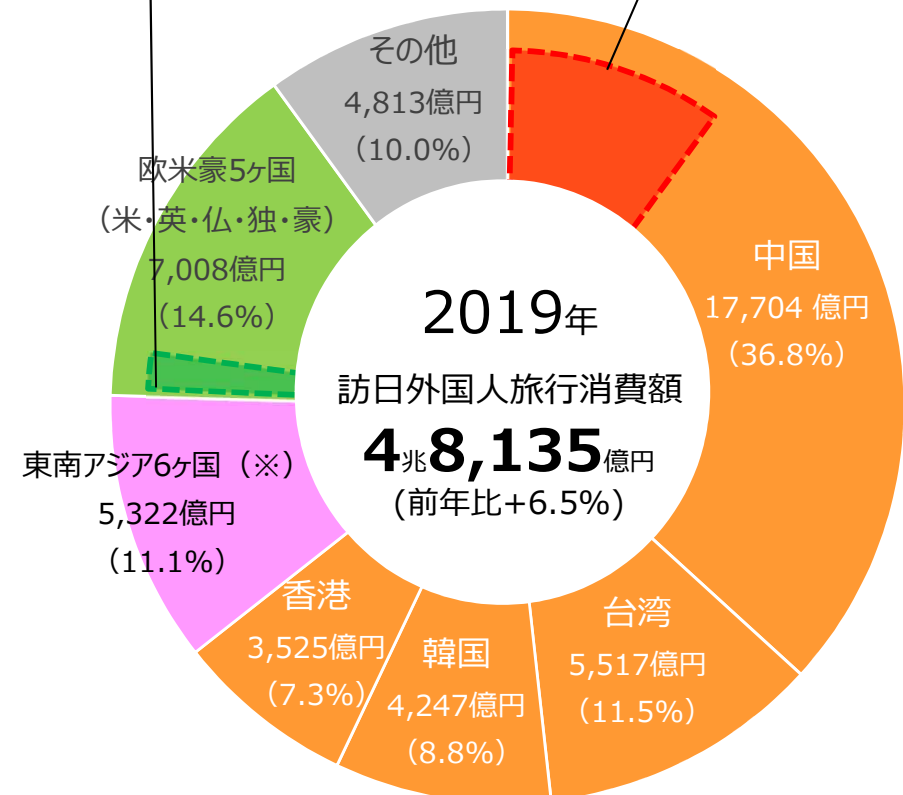
中国から**20.7万人**
中国全体の**2.2%**
訪日客全体の**0.7%**



富裕旅行者の消費額

欧米豪5ヶ国から**1,095億円**
5ヶ国全体の**15.6%**
訪日客全体の**2.3%**

中国から**4,428億円**
中国全体の**25.0%**
訪日客全体の**9.2%**



※東南アジア6ヶ国は、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、シンガポール、インドネシア

世界の富裕層の割合と市場別富裕旅行消費の獲得状況

※富裕層の分布は保有資産3000万US\$以上の人数を推計。世界全体で約51万人（2019年）

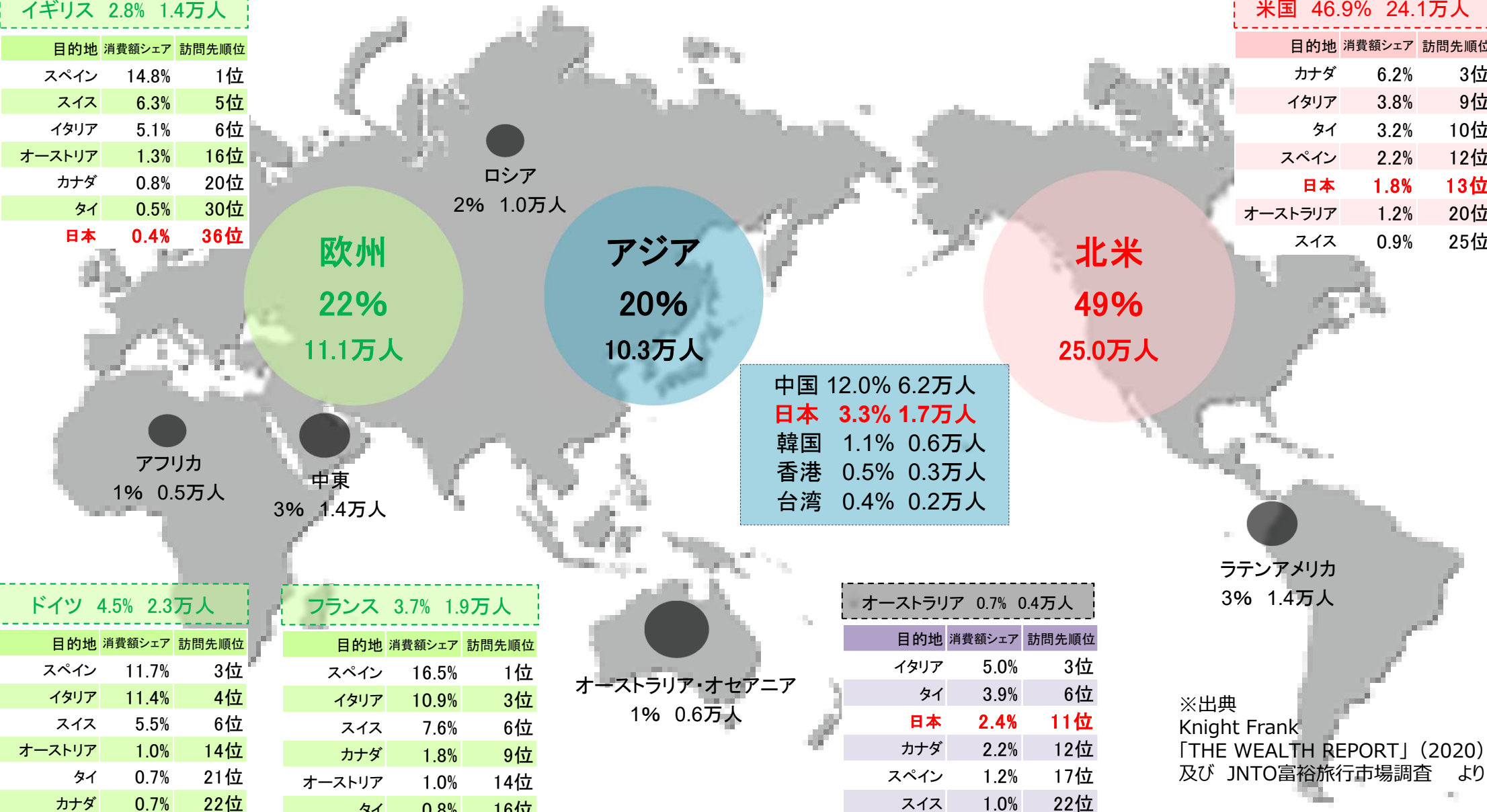
※富裕旅行消費の獲得状況は着地消費100万円以上/人回の旅行を富裕旅行として集計

イギリス 2.8% 1.4万人

目的地	消費額シェア	訪問先順位
スペイン	14.8%	1位
スイス	6.3%	5位
イタリア	5.1%	6位
オーストリア	1.3%	16位
カナダ	0.8%	20位
タイ	0.5%	30位
日本	0.4%	36位

米国 46.9% 24.1万人

目的地	消費額シェア	訪問先順位
カナダ	6.2%	3位
イタリア	3.8%	9位
タイ	3.2%	10位
スペイン	2.2%	12位
日本	1.8%	13位
オーストラリア	1.2%	20位
スイス	0.9%	25位



欧州 22% 11.1万人

アジア 20% 10.3万人

北米 49% 25.0万人

中国 12.0% 6.2万人
日本 3.3% 1.7万人
 韓国 1.1% 0.6万人
 香港 0.5% 0.3万人
 台湾 0.4% 0.2万人

ドイツ 4.5% 2.3万人

目的地	消費額シェア	訪問先順位
スペイン	11.7%	3位
イタリア	11.4%	4位
スイス	5.5%	6位
オーストリア	1.0%	14位
タイ	0.7%	21位
カナダ	0.7%	22位
日本	0.7%	23位

フランス 3.7% 1.9万人

目的地	消費額シェア	訪問先順位
スペイン	16.5%	1位
イタリア	10.9%	3位
スイス	7.6%	6位
カナダ	1.8%	9位
オーストリア	1.0%	14位
タイ	0.8%	16位
日本	-	23位

オーストラリア 0.7% 0.4万人

目的地	消費額シェア	訪問先順位
イタリア	5.0%	3位
タイ	3.9%	6位
日本	2.4%	11位
カナダ	2.2%	12位
スペイン	1.2%	17位
スイス	1.0%	22位
オーストリア	-	-

※出典
Knight Frank
「THE WEALTH REPORT」(2020)
及び JNTO富裕旅行市場調査 より

世界レベルの宿泊施設へのヒアリング結果①

- ✓ 前回の推進会議での世界レベルの宿泊施設に関する議論を踏まえ、世界レベルの宿泊施設、ディベロッパー等へのヒアリングを実施し、以下のようなご意見が得られた。

主なご意見

- 世界レベルの宿泊施設は、熱烈なファンが存在。
ホテルの進出が地域のブランド価値を向上させ、観光地としての魅力にもつながる。
- ⇒ **顧客を抱える世界レベルの宿泊施設の誘致が有効。**



主なご意見

- アクセスが悪くても感動を与えられる何か（自然や文化等）があるか、その土地でしかできない体験か、などが重要。
- ⇒ **世界レベルの宿泊施設は、上質な体験やそこでしかないコンテンツを用意できる地域に立地する。**



世界レベルの宿泊施設へのヒアリング結果②

主なご意見

- 世界レベルの宿泊施設の誘致は、施設の周囲も含めて良質な自然環境の維持が重要。地域住民の理解を得る必要もある。
- ⇒ **宿泊施設周辺の自然環境維持のために地方公共団体の協力が必要。**



主なご意見

- 海外では、質の高いサービスを求める観光客専門のトラベルエージェントがいて、まだ誰も注目していない特別な旅行先を探している。日本にはまだまだそうした場所が多いという。
- ⇒ **エージェントが集結するILTM（カンヌ）などのトラベルトレードショーに引き続き参加して、プロモーションを実施することが重要。**



上質な観光地の整備に向けた推進体制の整備

- 質の高いサービスを求める観光客を受け入れていくためには、地域の観光の質の向上が必要。
- 世界レベルの宿泊施設の誘致やコンテンツの造成・磨き上げ等を支援していく。

上質な観光地の整備に向けた官民連携の推進体制

- 有識者
- 観光コンテンツ事業者
- 世界レベルの宿泊施設
- ディベロッパー
- 金融機関
- 関係省庁
- 等

世界レベルの宿泊施設の整備支援



地域の観光資源の掘り起こし、体験コンテンツの造成・磨き上げ支援



自治体と宿泊施設との関係構築支援



地域の宿泊施設受入体制の整備支援



快適な移動の実現



※上記に加えて、人材育成を行うほか、日本政府観光局（JNTO）は、富裕層向けの見本市（ILT Mカンヌ等）等に引き続き参加し、プロモーションを実施する。

休暇の分散、ワーケーション の推進に向けた取り組み

我が国の観光の特徴と課題

- 我が国の観光は、特定の時期に休暇取得することや、宿泊日数が短いこと等による観光消費額の伸び悩みがある。
- 新型コロナウイルス感染症による社会変化を受け、今こそ休暇分散に取り組む機会。

日本の観光の課題

- 土日祝、GW、お盆、正月休みに一斉に休暇取得
- 1泊2日、2泊3日の旅行が8割を占める

このような休暇取得を前提とする限り、旅行消費の拡大は期待できない



休暇の分散化 が国内観光市場の拡大のカギ

新型コロナウイルス感染症による社会変化

- 大企業を中心にテレワーク等が普及し、働き方が多様化
※都内企業（従業員30人以上）のテレワーク導入率は62.7% <東京都調査>
- 感染リスクを避けるため、混雑を回避する傾向

- **新型コロナウイルス感染症による社会変化により休暇分散のメリットが増加**

旅行者

混雑の回避
感染リスクの低減

企業

働き方の改善
従業員の感染リスク低減

観光産業

新たな旅行需要の創出
従業員の正規職員化

➡ **日本の観光の課題を改善していく機会**

休暇の分散化と新しい旅行スタイルの普及

- Go to トラベルキャンペーンの広報の中で、感染リスクの低減に資する休暇の分散化、ワーケーションなどの新しい旅行スタイルの普及を図る。
- 同時に、観光地や宿泊施設において、「新しい旅行スタイル」を実施するためのコンテンツ整備、受入環境整備を進める。

目的

休暇の分散化

➔ 企業への働きかけ と 国民への呼びかけ・周知が必要

POSITIVE ☺FF



手段

休暇の分散化を進めるため新しい旅行スタイルを普及

➔ ワケーション、ブレッジャー及びサテライトオフィス需要に対応した環境整備、滞在型旅行実現のためのコンテンツ整備

- * ワケーション … テレワークを活用し、リゾート地・温泉地等で余暇を楽しみつつ仕事を行う。
- * ブレッジャー … 出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇も楽しむ。
- * サテライトオフィス … 企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィス。
- * 滞在型旅行 … 平日を含む一定期間、好きなところに滞在して、地域の自然、食事、文化を体験し、学び、楽しむ。



ワーケーション・サテライトオフィス等の受入環境整備の取組

- 宿泊施設等において、ワーケーション・サテライトオフィス需要に対応するための取組が進んでいる。
- 観光庁は、ワーケーション環境構築のため、宿泊施設へのアドバイザー派遣や、施設改修等を支援。

宿泊施設等における取組み事例

嬉野温泉 和多屋(わたや)別荘 (佐賀県嬉野市)

施設内の一室をリノベーションし、東京のウェブ企画制作会社がサテライトオフィスを設置。



◀ 温泉に入れる充実した
オフィス環境



▶ オフィス用に改装した
客室には、電源設備、
休憩用のレストルーム
等を完備

海の幸とやすらぎの宿 海月 (かいげつ) ／海島遊民くらぶ (三重県鳥羽市)

ワーケーション滞在中に旅館が地域と旅行者を繋ぎ、無人島ツアーなど非日常体験の提供も含めた地域でのライフスタイルをコーディネート。



ワーキングスペース機能の和洋室へ
リニューアル・WiFi環境強化



無人島カヤックツアー
(準備不要・当日参加可)

観光庁による支援

1. アドバイザー派遣を活用したワーケーション実施の検討

ワーケーション需要等への対応に必要な事業計画や改修プランの作成、金融機関との調整、活用可能な補助金の申請等を支援。

宿泊施設

政府の補助金を
活用して経営を
強化したい。



たくさんのお客様
に喜んでもらえる
施設に改修したい。

業務の効率化や
従業員の教育に
力を入れたい。



ワーケーション等の
新しいビジネスに
取り組んでみたい。

2. ワーケーション実施のための環境整備

Wi-Fi環境整備等を支援

活用事例

Wi-Fi環境の整備



バリアフリー化を伴うワーケーションスペース等の改修を支援

活用事例

ワーケーションスペースの整備

